



日本マンガ学会

九州マンガ交流部会

(第8回女性MANGA研究国際会議)

第56回
例会

2019年1月12日 13:10-16:20

筑紫女学園大学 6号館 6101教室

818-0192 福岡県太宰府市石坂 2-12-1

参加費無料

懇親会：部会終了後

問い合わせ先：大城房美 (fogi@chikushi-u.ac.jp)

公開研究会 マンガが自由であるために—女性と表現について考える

半世紀ほどまえ少女マンガというジャンルにおいて、「少女」が表していた「少女らしさ」や「女の子らしさ」への挑戦が始まりました。それは「少女」自身による「少女」というラベルの拡張であり、表現の自由に向かう大きな第一歩でした。

本研究会では、前半で少女マンガ、後半で少女マンガから派生した現代ポップカルチャーを代表するBL オタク文化から、女性と表現について考えます。

〈第1部〉(少女マンガ)

大城 房美 (筑紫女学園大学) 少女マンガとタブー：「少女」の挑戦と拡張

杉本 バウエンス ジェシカ (龍谷大学) アメリカのコミックアーティストと少女マンガ

〈第2部〉(BLとオタク)

長池 一美 (大分大学) 腐男子に「なる」欲望：異性愛男子が読み解くBL

ガルブレイス パトリック W (東京大学) 「おたく」の研究と想像の闘いについて

司会 コメンテーター 濱野 健 (北九州市立大学)